

## 現代生活学研究科学位論文審査基準

第1条 現代生活学研究科(本研究科)における修士の学位授与に関する要綱第5条および6条にもとづき組織された審査専門委員会(以下審査専門委員会)は、下記に示すルーブリック評価表を用いて、学位論文の評価・審査を行う。

学位論文評価ルーブリック

ア:研究遂行能力 イ:研究発表能力 ウ:論文作成能力	評価の観点	評点	評点S(4)orA(3) 優れている	評点B(2) 平均的	評点C(1) 改善が必要
	ア	<b>独創性</b> (originality)		食・栄養に関する最新の知見を踏まえた上で、独創性を有するにたる内容を研究目的に設定している	食・栄養に関する最新の知見をある程度踏まえたいくぶんか独創性を有する内容を研究目的に設定している
ア	<b>先行研究の理解</b> (Review of Previous Studies)		国内外の先行研究、既存理論の蓄積を十分行っている。	国内外の先行研究について、一部言及がある。	関連する先行研究について、ほとんど把握していない。
ア	<b>研究方法</b> (Methodology)		研究目的に完璧に適合した分析方法を用い、明確な分析方法の視点を有している。	研究目的にある程度沿った分析方法を用いている	分析方法の研究目的への適合が十分ではない、
イ、ウ	<b>論旨の一貫性</b> (Consistency)		結論にいたるまで、論旨が一貫している。	論旨はある程度一貫しているが、部分的に飛躍がみられる。	結論の導き方にいささか問題がある
イ、ウ	<b>表現の適切性</b> (Expression)		適切な専門用語を用い、達意の文章表現をとり、図表等の提示法も適切である	一応難なく読める水準に仕上がっている	誤字・脱字やミススペルが多く、文章表現に稚拙さがみられる。
ア	<b>研究倫理</b> (Ethics)		研究倫理について、高度に配慮されている	研究倫理の観点から見て、いくぶんか配慮がなされている	研究倫理の観点から見て、ほとんど配慮がなされていない

評点S(4)or A(3): 優れている。評点B(2): 平均的。評点C(1): 改善が必要 ア:研究遂行能力、イ:研究発表能力、ウ:論文作成能力

2 前項の評価において、15点以上の評点が得られたものを合格とする。

第2条 審査専門委員会は、前条により行われた評価結果を本研究科学研究科委員会にすみやかに報告しなければならない。

第3条 本規定の改廃については、研究科委員会の議を経た上で行うものとする。

付則 この審査基準は令和5年5月16日から施行する。